

文化財

1	文化財	119
2	生目の杜遊古館	127
3	みやざき歴史文化館	128
4	佐土原歴史資料館	129
5	天ヶ城歴史民俗資料館	130
6	安井息軒記念館	131

1 文化財

(1) 概要

本市では、昭和45年4月に宮崎市文化財保護条例を制定した。平成22年3月23日の清武町との合併に伴い、国指定史跡「安井息軒旧宅」が加わるなど、平成29年5月2日現在の指定文化財件数は、有形文化財57件、無形文化財2件、有形民俗文化財2件、無形民俗文化財18件、史跡49件、天然記念物23件、合計151件となっている。

文化財の保護顕彰については、市内の文化財を紹介する「新宮崎市の文化探訪マップ～文化財ツーリング～」や、遺跡発掘調査に伴う「埋蔵文化財発掘調査報告書」、文化財を紹介する市のホームページなどを、市民及び関係機関の利用に供している。また、学校教育との連携については、しらふじ文化財愛護少年団、船引文化財愛護少年団、今泉文化財愛護少年団、中野文化財愛護少年団の4団体が、文化財愛護と環境保護意識の啓発活動に努めている。

史跡整備としては、国指定史跡の「生目古墳群」「佐土原城跡」「本野原遺跡」「穆佐城跡」「蓮ヶ池横穴群」について、それぞれの史跡の特徴を生かした保存整備事業を計画的に進めている。平成20年4月には「生目古墳群史跡公園」が開園した。現在も古墳の発掘調査や整備を進め、発掘調査現地説明会や活用イベント等を実施しながら史跡公園の活用を図っている。

平成21年4月に開館した「生目の杜遊古館」の埋蔵文化財センターでは、生目古墳群や市内の遺跡から発掘された考古資料の展示・解説や、普及啓発活動を行い、市民の埋蔵文化財に対する理解・関心を深めている。また、体験学習館では、集団宿泊学習や古代文化体験などの活動を通して、健全な青少年育成を図っている。

民俗芸能伝承事業としては、昭和62年度から民俗芸能の登録制度を設け、その掘り起こしと記録保存に努め、各地域に伝承されている民俗芸能に発表の場を提供する「みやざき民俗芸能まつり」を毎年開催し、市民が民俗芸能を鑑賞する機会を提供している。

平成29年度の文化財に関する主な事業としては、生目古墳群史跡公園内の古墳の発掘調査・保存整備、佐土原城跡の発掘調査・立木管理などの実施、本野原遺跡の史跡周辺整備、穆佐城跡の発掘調査と立木管理、蓮ヶ池横穴群の環境対策工事を実施する。

文化財の保護管理としては、「宮崎神宮のオオシラフジ」「清武の大クス」などの天然記念物の保護治療、「アカウミガメ及びその産卵地」の保護調査を行うほか、公共事業・民間開発に伴う埋蔵文化財の発掘調査を実施する。

文化財の公開活用としては、市民の文化財への興味・関心を深めるため、「遊古館フェスタ」などの施設公開、「歴史散歩 in むかさ」、「佐土原城下古地図探検隊」、「みやざき生目古墳まつり」、などの文化財を活用したイベントを実施する。

(2) 指定文化財等一覧（宮崎市の文化財：平成30年4月25日現在）

①国指定文化財

番号	種別	名称	所在地	指定年月日
1	重要文化財	木造薬師如来及び両脇侍像三軀	大字瓜生野 1068 番地（王楽寺）	昭 19. 9. 5
2	〃	旧黒木家住宅	神宮 2 丁目（県総合博物館屋外）	昭 48. 2. 23
3	〃	旧藤田家住宅	〃	昭 48. 2. 23
4	〃	木造騎獅文殊菩薩及脇侍像（五軀） 附木造天蓋一面	佐土原町上田島 767 番地（大光寺）	昭 19. 9. 5
5	〃	乾峯土曇墨蹟（六種）	〃	昭 40. 5. 29
6	〃	巨田神社本殿一棟附棟札 22 枚	佐土原町上田島巨田（巨田神社）	昭 53. 5. 31
7	重要有形民俗文化財	日向の山村生産用具	神宮 2 丁目（県総合博物館）	平 5. 4. 15
8	史跡	生目古墳群	大字跡江字井尻ほか	昭 18. 9. 8 平 19. 2. 6
9	〃	蓮ヶ池横穴群	大字芳土字岩永迫	昭 46. 7. 17
10	〃	佐土原城跡	佐土原町上田島追手ほか	平 16. 9. 30
11	〃	本野原遺跡	田野町字本野原	平 16. 9. 30 平 18. 1. 26
12	〃	穆佐城跡	高岡町小山田 918 番地ほか	平 14. 3. 19
13	〃	安井息軒旧宅	清武町加納（字中ノ尾）甲 3368 番地 1	昭 54. 5. 22
14	特別天然記念物	青島亜熱帯性植物群落	青島 2 丁目（青島神社境内）	昭 27. 3. 29
15	〃	内海のヤッコソウ発生地	大字内海字下大谷	昭 27. 3. 29
16	天然記念物	青島の隆起海床と奇形波蝕痕	大字折生迫 青島海岸ほか	昭 9. 5. 1
17	〃	内海のアコウ	大字内海字磯平 6227 番地 （野島神社境内）	昭 16. 10. 3
18	〃	宮崎神宮のオオシラフジ	神宮 2 丁目（宮崎神宮境内）	昭 26. 6. 9
19	〃	瓜生野八幡神社のクスノキ群	大字大瀬町 5714 番地 （八幡神社境内）	昭 26. 6. 9
20	〃	双石山	大字鏡洲	昭 44. 8. 22
21	〃	高岡の月知梅	高岡町高浜梅元 323 番地 2	昭 10. 12. 24
22	〃	去川のイチョウ	高岡町内山 3704 番地 1	昭 10. 12. 24
23	〃	清武の大クス	清武町船引 6622 番地（船引神社）	昭 26. 6. 9

②県指定文化財

番号	種別	名称	所在地	指定年月日
24	有形文化財	木造阿弥陀如来坐像一軀	神宮 2 丁目（県総合博物館）	昭 40. 8. 17
25	〃	米良の民家旧黒木幸見家住宅	神宮 2 丁目（県総合博物館屋外）	昭 52. 4. 1
26	〃	椎葉の民家旧清田司家住宅	〃	昭 52. 4. 1
27	〃	土持文書	神宮 2 丁目（県総合博物館）	昭 58. 1. 21
28	〃	寶治二年銘神面及び天文五年銘神面	大字生目 345 番地（生目神社）	平 15. 10. 16

番号	種 別	名 称	所 在 地	指定年月日
29	有 形 文 化 財	妙円寺跡石塔群	大字浮田字中間 437 番地 1 (千仏山本勝寺境内)	平 15. 10. 16
30	〃	金剛寺文書	大字芳土 2258 番地 3 (みやざき歴史文化館寄託)	平 18. 3. 23
31	〃	木造地藏菩薩半跏像(一軀)	佐土原町上田島 767 番地(大光寺)	昭 40. 8. 17
32	〃	巨田神社撰社若宮社、今宮社	佐土原町上田島巨田 (巨田神社)	昭 58. 1. 21
33	〃	下北方地下式横穴 5 号出土品一括	大字芳土 2258 番地 3 (みやざき歴史文化館)	平 20. 3. 31
34	〃	五輪塔	清武町木原 6329 番地 1	昭 41. 7. 17
35	〃	旧二見家住宅	高岡町内山 3627 番地	平 30. 2. 26
36	無 形 民 俗 文 化 財	青島臼太鼓踊り	青島地区	平 18. 3. 23
37	〃	巨田池の鴨網猟	佐土原町上田島巨田地区	平 18. 3. 23
38	〃	船引神楽	清武町船引地区	平 3. 3. 15
39	史 跡	谷村計介旧宅跡	大字糸原下馬場	昭 8. 12. 5
40	〃	赤江町古墳	赤江地区一円	昭 8. 12. 5
41	〃	倉岡村古墳	倉岡地区一円	昭 8. 12. 5
42	〃	青島村古墳	青島地区一円	昭 10. 7. 2
43	〃	宮崎市大淀古墳	大塚地区一円	昭 12. 7. 2
44	〃	木花村古墳	木花地区一円	昭 12. 7. 2
45	〃	住吉村古墳	住吉地区一円	昭 14. 1. 27 昭 19. 12. 15
46	〃	宮崎市下北方古墳	下北方地区一円	昭 14. 4. 21
47	〃	生目村古墳	生目地区一円	昭 19. 12. 15
48	〃	瓜生野村古墳	瓜生野地区一円	昭 19. 12. 15
49	〃	池内横穴	平和が丘西町	昭 47. 5. 26
50	〃	船塚古墳	神宮 2 丁目 (宮崎神宮境内)	昭 52. 4. 1
51	〃	古月禪師分骨塔	佐土原町上田島 767 番地(大光寺境内)	昭 9. 4. 17
52	〃	佐土原町古墳	佐土原町上田島字居穴口ほか	昭 10. 7. 2
53	〃	那珂村古墳	佐土原町東上那珂字牛ヶ迫ほか	昭 12. 7. 2
54	〃	広瀬村古墳	佐土原町下那珂七ヶ廻ほか	昭 14. 1. 27
55	〃	僧日講遺跡	佐土原町上田島今坂	昭 17. 6. 23
56	〃	去川の関跡	高岡町内山(国道 10 号線敷)	昭 8. 12. 5
57	〃	高岡町古墳	高岡町花見	昭 17. 6. 23
58	〃	清武上猪ノ原遺跡	清武町船引 5582 番地 1	平 27. 2. 23
59	天 然 記 念 物	アカウミガメ及びその産卵地	こどものくに南端から大炊田海岸	昭 55. 6. 24
60	〃	天林寺のオハツキイチョウ	新別府町麓 418 番地 (天林寺境内)	昭 60. 12. 17

③市指定文化財

番号	種 別	名 称	所 在 地	指定年月日
61	有 形 文 化 財	木造六観音像	大塚町城ノ下 2825 番地 (長久寺)	昭 48. 3. 12
62	〃	舞楽面陵王	大字新名爪 4449 番地 (新名爪八幡宮)	昭 48. 3. 12
63	〃	木造阿弥陀如来立像一軀	大字熊野 9508 番地 (木花神社)	昭 49. 4. 15
64	〃	木造十一面観音立像一軀	大字広原 4406 番地 (畑公民館)	昭 49. 4. 15
65	〃	木喰行道筆 南無薬師如来書画幅 一軸	大字金崎 914 番地 (朝倉寺)	昭 58. 3. 16
66	〃	木喰行道作 千手千眼十一面観音 立像一軀	大字有田 (個人)	昭 58. 3. 16
67	〃	下郷遺跡出土絵画土器	大字芳土 2258 番地 3 (みやざき歴史文化館)	平 14. 10. 28
68	〃	生目神社木造神面 (二面)	大字生目 345 番地 (生目神社)	平 16. 3. 29
69	〃	商家「旧阪本家」	佐土原町上田島 1601 番地 2	平 12. 5. 23
70	〃	二ッ建天神社天満縁起絵詞	佐土原町下田島 8202 番地 1 (佐土原歴史資料館寄託)	平 17. 10. 26
71	〃	梅谷橋 (石橋)	田野町梅谷	平 15. 6. 10
72	〃	黒草水路橋	田野町楠原	平 15. 6. 10
73	〃	河上家武家門	高岡町内山 2700 番地	昭 54. 1. 24
74	〃	高岡名勝志	高岡町内山 3003 番地 56 (天ヶ城歴史民俗資料館)	昭 54. 1. 24
75	〃	練土館の扁額	〃	昭 54. 1. 24
76	〃	高岡郷土高帳	〃	昭 61. 1. 20
77	〃	市来家長屋門	高岡町五町 354 番地	平 9. 6. 19
78	〃	安藤家武家門と石垣	高岡町五町 266 番地	平 10. 4. 16
79	〃	赤谷橋 (石橋)	高岡町浦之名字赤谷 (県道赤谷橋山線道路敷)	平 14. 8. 12
80	〃	鶉木橋 (石橋)	〃	平 14. 8. 12
81	〃	木造弘法大師像	大塚町城ノ下 2825 番地 (長久寺)	平 20. 12. 1
82	〃	木造乾峰土曇像	佐土原町上田島 767 番地 (大光寺)	平 21. 11. 11
83	〃	木造岳翁長甫像	〃	平 21. 11. 11
84	〃	安井文庫 29 点	清武町加納甲 3378 番地 1 (安井息軒記念館)	昭 45. 7. 23
85	〃	弥勒寺六地藏塔	清武町船引柿ノ木田 (里道)	昭 53. 9. 8
86	〃	神宮寺六地藏塔	清武町船引 (個人)	昭 53. 9. 8
87	〃	内山寺仁王像	清武町船引 1592 番地	昭 53. 9. 8
88	〃	安井息軒衣服 18 点	清武町加納甲 3378 番地 1 (安井息軒記念館)	昭 53. 9. 8
89	〃	安井息軒書簡	〃	昭 53. 9. 8
90	〃	炎尾権現御本地文書	〃	昭 56. 2. 1
91	〃	船引神社雲竜巻柱	清武町船引 6622 番地 (船引神社)	昭 61. 3. 31
92	〃	黒坂観音仁王像	清武町木原 6329 番地 1	昭 61. 3. 31
93	〃	黒坂観音厨子	〃	昭 62. 12. 11
94	〃	千手観音自在菩薩	〃	昭 62. 12. 11

番号	種 別	名 称	所 在 地	指定年月日
95	有 形 文 化 財	秋葉大権現像	清武町加納甲 3378 番地 1 (安井息軒記念館)	平 22. 2. 3
96	〃	神崎家武家門 附石垣 3 基	高岡町内山字大手迫 2818 番地	平 26. 5. 12
97	〃	長野家武家門 附石垣 2 基	高岡町内山字雁ヶ峰 2801 番地 3	平 26. 5. 12
98	〃	濱田家武家門 附石垣 3 基	高岡町五町字井ノ上 129 番地	平 26. 5. 12
99	〃	吉富家武家門 附石垣 2 基	高岡町内山字中村 2879 番地	平 26. 5. 12
100	無 形 文 化 財	高岡の鶴賀新内	伝承者 鳥越フミ子氏 (市指定無形文化財保持者)	平 9. 6. 19
101	〃	高岡じょっさい	〃	平 10. 4. 16
102	有 形 民 俗 文 化 財	花見神楽の面	高岡町内山 3003 番地 56 (天ヶ城歴史民俗資料館寄託)	平 14. 8. 12
103	無 形 民 俗 文 化 財	木花相撲踊り	大字熊野	平 3. 5. 21
104	〃	下北方六月踊り	下北方町	平 15. 3. 28
105	〃	巨田神楽	佐土原町上田島巨田地区	平 5. 3. 25
106	〃	曾我兄弟踊り	佐土原町下田島大炊田地区	平 7. 11. 8
107	〃	佐賀利いろは口説踊り	佐土原町下田島佐賀利地区	平 10. 2. 26
108	〃	田野町雨太鼓	田野町一円	昭 49. 9. 26
109	〃	鷺瀬地区城攻め踊り	田野町上鷺瀬・下鷺瀬地区	平 11. 7. 9
110	〃	船引臼太鼓踊り	清武町船引地区	昭 45. 7. 23
111	〃	船引破魔太鼓	清武町船引地区	昭 61. 3. 31
112	〃	中木原破魔太鼓	清武町中木原地区	昭 61. 3. 31
113	〃	黒坂・永田破魔太鼓	清武町黒坂・永田地区	昭 61. 3. 31
114	〃	はまくだりの歌	清武町木原地区	昭 61. 3. 31
115	〃	生目神楽	大字生目 345 番地 (生目神社)	平 24. 2. 27
116	〃	野島神楽	大字内海 6227 番地 (野島神社)	平 25. 10. 31
117	〃	高屋神社神楽	村角町橘尊 1975 (高屋神社)	平 28. 3. 3
118	史 跡	城ヶ崎俳人墓碑並びに板碑群	恒久 3 丁目 20 番地 13	昭 47. 3. 10
119	〃	広原横穴第 1 号 (線刻壁画)	大字広原字管牟田 7594 番地	昭 57. 2. 12
120	〃	小村薬師堂石塔群	大字生目字一丁田 3100 番地 大字生目字一丁田 3094 番地丙 (小村薬師堂)	昭 63. 8. 25
121	〃	島津家久・豊久公墓二基	佐土原町上田島西野久尾 (天昌寺跡)	昭 54. 4. 1
122	〃	佐土原藩島津家御廟所(高月院)	佐土原町上田島 8079 番地 (高月院境内)	平 16. 8. 20
123	〃	佐土原藩島津家御廟所(大光寺)	佐土原町上田島 767 番地(大光寺境内)	平 16. 8. 20
124	〃	野田泉光院の墓	佐土原町上田島 757 番地 3 (大光寺境内)	平 17. 10. 26
125	〃	仏堂園群像仏	田野町甲 9730 番地	平 15. 6. 10
126	〃	龍福寺仁王尊	高岡町内山頭本瀬	昭 54. 1. 24
127	〃	去川関所御定番二見家墓石群	高岡町内山前田	昭 54. 1. 24
128	〃	八代藩主島津久豊の墓	高岡町小山田山子 3574 番地 2	昭 54. 1. 24
129	〃	天ヶ城址	高岡町内山 2375 番地 2 ほか	昭 54. 1. 24

番号	種 別	名 称	所 在 地	指定年月日
130	史 跡	高木兼寛生誕地	高岡町小山田太良山 2465 番地 1 ・ 2465 番地 2	昭 63. 4. 18
131	〃	稲津掃部助の墓	清武町加納甲 1003 番地	昭 45. 7. 23
132	〃	清武城趾	清武町加納甲 776 番地 2・777 番地 2	昭 45. 7. 23
133	〃	伊東家僑墓	清武町加納丙 1474 番地	昭 53. 9. 8
134	〃	伊東祐堯公墓	清武町船引 (個人)	昭 53. 9. 8
135	〃	歴代安井家墓地	清武町加納丙 1474 番地	昭 53. 9. 8
136	〃	河崎権助の墓	清武町加納甲 1941 番地 47	昭 53. 9. 8
137	〃	蓮徳寺墓碑群	清武町加納丙 1393	昭 53. 9. 8
138	〃	玄松院開山の碑	清武町加納甲 3377 番地 2	昭 61. 3. 31
139	〃	河崎駿河守墓	清武町加納丙 1474 番地	昭 61. 3. 31
140	〃	山内石塔群	清武町木原 6327 番地 1・6325 番地 1	昭 63. 3. 1
141	天 然 記 念 物	生目神社のオガタマノキ	大字生目 345 番地 (生目神社)	昭 48. 3. 12
142	〃	生目神社のクスノキ	〃	昭 48. 3. 12
143	〃	倉岡小学校のシロバナフジ	大字糸原 538 番地 (倉岡小学校内)	平 10. 8. 3
144	〃	はぜ馬場のはぜ並木	佐土原町下田島新城・佐賀利	昭 54. 4. 8
145	〃	名木いちょう	田野町乙 3317 番地 6	昭 53. 3. 1
146	〃	ヤマザクラ(天神)	田野町乙 300 番地 14	平 17. 12. 2
147	〃	島津忠国の誕生杉	高岡町小山田麓 940 番地 2	昭 54. 1. 24
148	〃	高岡町のヤッコソウ自生地	高岡町小山田 (国有林内)	平 17. 12. 19
149	〃	船引神社のヤッコソウ	清武町船引 6622 番地	昭 45. 7. 23
150	〃	紅梅	清武町船引(個人)	昭 48. 7. 26
151	〃	琉球豆柿	清武町加納甲(個人)	昭 48. 7. 26

④国登録文化財

番号	種 別	名 称	所 在 地	登録年月日
①	有 形 文 化 財	宮崎神宮神殿	神宮 2 丁目 (宮崎神宮境内)	平 22. 1. 15
②	〃	宮崎神宮幣殿	〃	平 22. 1. 15
③	〃	宮崎神宮渡殿	〃	平 22. 1. 15
④	〃	宮崎神宮神饌所	〃	平 22. 1. 15
⑤	〃	宮崎神宮御料屋	〃	平 22. 1. 15
⑥	〃	宮崎神宮透間垣	〃	平 22. 1. 15
⑦	〃	宮崎神宮拝所	〃	平 22. 1. 15
⑧	〃	宮崎神宮正門	〃	平 22. 1. 15
⑨	〃	宮崎神宮玉垣	〃	平 22. 1. 15
⑩	〃	宮崎神宮石柵	〃	平 22. 1. 15
⑪	〃	宮崎神宮徴古館	〃	平 22. 1. 15
⑫	〃	黒北発電所	清武町船引 3544 番地	平 9. 5. 7
⑬	〃	池田家住宅主屋	別府町 53 番 1 号	平 24. 2. 23

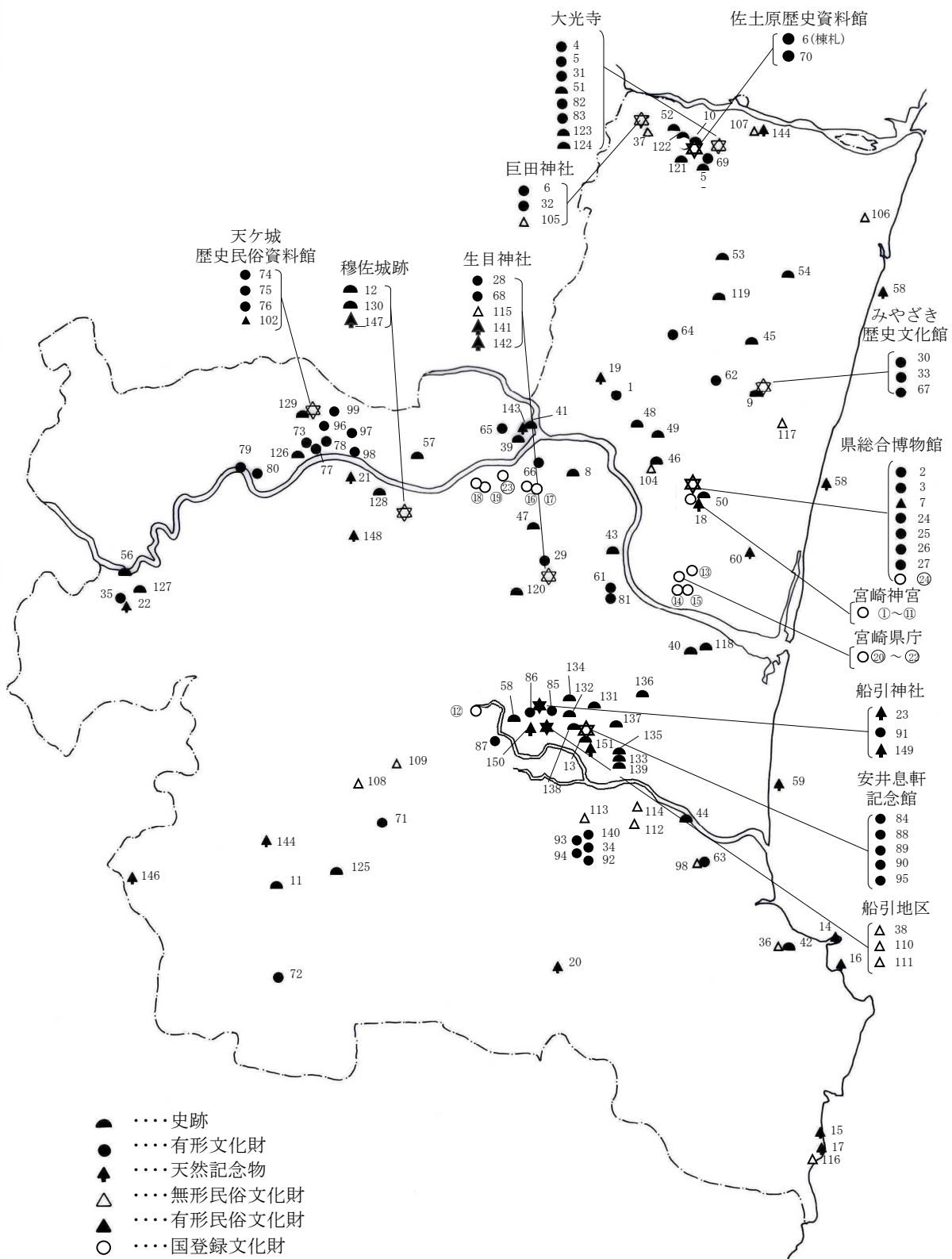
番号	種 別	名 称	所 在 地	指定年月日
⑭	有 形 文 化 財	奈良家住宅主屋	旭1丁目106番	平25.12.24
⑮	〃	奈良家住宅別棟	〃	平25.12.24
⑯	〃	松浦家住宅石蔵	大字柏原字高野迫986番地イ	平28.2.25
⑰	〃	松浦家住宅門柱及び石塀	〃	平28.2.25
⑱	〃	土器屋家住宅石蔵	大字富吉4869番地3	平28.2.25
⑲	〃	土器屋家住宅石塀	大字富吉4869番地2他	平28.2.25
㉔	〃	宮崎県庁舎本館	橘通東2丁目35番	平29.5.2
㉕	〃	宮崎県庁舎正門門柱	橘通東2丁目35番	平29.5.2
㉖	〃	宮崎県庁舎東門門柱	橘通東2丁目35番	平29.5.2
㉗	〃	青木橋	大字富吉	平29.5.2
㉘	記 念 物	賀来飛霞標本	神宮2丁目(県総合博物館)	平22.8.5

⑤宮崎市の指定文化財内訳

種 別	国指定	県指定	市指定	合 計
重要文化財(有形文化財)	6	12	39	57
重要有形民俗文化財(有形民俗文化財)	1		1	2
無形文化財			2	2
無形民俗文化財		3	15	18
史跡	6	20	23	49
特別天然記念物	2			2
天然記念物	8	2	11	21
合計	23	36	92	151

⑥宮崎市の登録文化財内訳

種 別	登録
有形文化財	23
記念物	1
合計	24



宮崎市内指定文化財分布図(平成30年4月25日現在)

2 生目の杜遊古館

埋蔵文化財センターと体験学習館の施設を有する宮崎市の埋蔵文化財の調査・研究と整理・保管、普及啓発活動の拠点施設。国指定史跡「生目古墳群」のガイドンス（案内）施設を兼ねる。

埋蔵文化財センターでは生目古墳群や市内の遺跡から発掘された出土遺物の展示や解説、普及啓発活動を行う。体験学習館では、集団宿泊学習や古代文化体験などができる。

(1) 施設の概要

区分	埋蔵文化財センター	体験学習館	
所在地	宮崎市大字跡江 4200 番地 3		
敷地面積	19,907.2 m ²		
建物延床面積	2,499.9 m ²	2,379.46 m ²	
		(体験学習棟)	(宿泊棟)
		1,324.98 m ²	1,054.48 m ²
建物構造	鉄筋コンクリート造 平屋建て	鉄骨造 平屋建て	木造 平屋建て
建設費	719,873 千円	303,753 千円	243,647 千円
休館日	月曜日、祝日の翌日（但し、土・日曜日、休日に当たる日を除く）、12/29～1/3		
開館日	平成 21 年 4 月 25 日		
開館時間	午前 9 時 ～ 午後 4 時 30 分（入館は午後 4 時まで） ※体験学習館は日帰り利用の場合		
使用料	宿泊 一泊 510 円（市内の学校等に通う高校生以下無料）、 食事代・材料代等は実費		

①埋蔵文化財センター

宮崎市の埋蔵文化財の「調査・研究」、「整理・保存」、「公開・活用」を目的とした施設。生目古墳群のガイドンス施設。生目古墳群や市内遺跡からの出土遺物の展示・解説、埋蔵文化財センターでの業務の公開等を行う。

②体験学習館

古代文化体験、創作活動ができる集団宿泊学習にも対応した体験学習施設。（宿泊利用は研修を目的とした市内の高校生までの児童生徒及び幼児を主たる構成員とし、引率者を有する団体、市内の社会教育関係団体等が利用でき、最大 184 名宿泊可能。）

〈体験学習棟〉多目的室、体験工房、調理実習室、食堂、シャワー室

〈宿泊棟〉宿泊室、指導者室、交流室

〈その他〉炊飯棟、多目的広場

(2) 事業の概要

①平成 29 年度実績

- ・総入館者数 43,980 人（大人 22,599 人 小人 21,381 人）
- ・開館日数 307 日

②イベント等の開催

- ・古代生活体験（勾玉作り、土笛作り 他）
- ・自然体験（リース作り、フォトフレーム作り、草木染め 他）
- ・野外体験（ネイチャーゲーム、野外炊飯 他）

3 みやざき歴史文化館

平成4年7月25日宮崎市の北部、芳士の蓮ヶ池史跡公園内にオープンしたみやざき歴史文化館は、市制60周年記念行事の一つとして建設されたもので、宮崎平野の歴史・民俗・神話に関する資料の収集、保管、展示を行い、圏域住民の教養、研究、レクリエーションに役立てるための施設となっている。平成18年度から指定管理者の運営となり、歴史講座、体験学習や企画展示等の事業に取り組んでいる。

(1) 施設の概要

所在地	宮崎市大字芳士 2258 番地 3
建物延床面積	2,204.6 m ²
建物構造	鉄筋コンクリート 2階建て
事業費	1,307,100 千円
休館日	月曜日、休日の翌日（但し、土・日曜日、休日に当たる日を除く）、12/29～1/3
開館日	平成4年7月25日
入館料	無料

【展示の概要】

みやざき歴史文化館の展示は、大淀川を中心とする宮崎文化圏を「考古・歴史」、「民俗・民俗芸能」、「神話」の3つの観点から紹介している。いつでも利用者が参加体験でき、楽しみながら学べる施設である。2階常設展示室は3つのコーナーがあり、考古・歴史コーナーでは、旧石器時代から現代にいたる生活の変化を資料や模型などで紹介し、石器の組み立てや土器の文様付けが体験できる。

民俗・民俗芸能コーナーでは様々な行事や芸能、民話を映像、イラストで紹介している。神話コーナーでは、日本や世界のいろいろな神話をミニシアターや回転紙芝居、マジックビジョンなどで視聴できるほか、パソコンで展示に関するクイズを出題している。

【蓮ヶ池史跡公園】

史跡蓮ヶ池横穴群を公園化した広大な史跡公園で、古墳時代の横穴墓をはじめ、移築した厩・鍛冶屋など直接文化財に触れることができる。また、せせらぎ水路や四阿（あずまや）散策園路などを利用してゆっくり憩える場所となっている。

(2) 事業の概要

①平成29年度実績

- ・総入館者数 55,833 人（大人 26,434 人 小人 29,399 人）
- ・開館日数 307 日
- ・一日平均利用者 182 人

②各種講座・教室、イベント等の開催

企画展示に関しては、春に「歴史文化館のあゆみ展」を開催したほか、夏に「むかし子どもたちのくらし展」、秋にみやざき歴史文化館25周年記念事業「収蔵品展」、冬に「宮崎の美術」「歴史3館合同収蔵品展」等を開催した。

講座・教室としては、「歴史文化講座」や「古文書講座」、さつまいも畑の畝づくりから収穫までの「農耕体験学習」などを実施した。また、「史跡探訪会」を実施したほか、「子どもの日イベント」、夏休みイベントとして「魚のつかみ取り」、「夏休みの楽しい工作」、「春のイベント」を開催した。

4 佐土原歴史資料館

佐土原歴史資料館は、鶴松館・商家資料館からなる。そのうち鶴松館は寛永年間の佐土原城二の丸跡に資料館として建設され、有形文化財指定の商家資料館とともに、佐土原地域の数々の資料に触れることができる。

また、資料館敷地及び周囲の佐土原城跡については、自然の地形を利用した中世の典型的な山城と江戸時代に利用された平城の両方があった所で、平成16年に国指定文化財（史跡）となっている。南九州では他に類を見ない天守台を備え、金箔瓦を使っていたことなどが分かっている。

(1) 施設等の概要

区 分	鶴 松 館	商家資料館「旧阪本家」
所 在 地	佐土原町上田島 8227 番地 1	佐土原町上田島 1601 番地 2
敷 地 面 積	3,264 m ²	150.5 m ²
建物延床面積	535.15 m ²	140.36 m ²
建 物 構 造	木造平屋建て	木造2階建て
事 業 費	941,403 千円	17,000 千円
休 館 日	月曜日～金曜日（休日に当たる日を除く。5/15～6/14 は休館日なし）、12/29～1/3	
入 館 料	無料	
開 館 日	平成5年6月1日	平成13年7月2日
展 示 の 要	<p>大広間、書院、数寄屋の三棟からなる。大広間では、佐土原人形や、掛け軸、鎧冑などを常設展示している。</p> <p>書院では、展示資料室として、山城天守台跡から発掘された鯨瓦や、南九州最大の「下村窯跡」出土須恵器、山城立体模型、国指定重要文化財「巨田神社の棟札」、西郷札など古代から年代順に資料を展示している。</p> <p>数寄屋は島津家由来の家具調度品を展示している。</p>	<p>阪本家は、江戸時代から続いた味噌・醤油醸造を営む旧商家で、現在の建物は隆盛を極めた明治38年に建てられ、二列通り庭造りの典型的な町屋造りである。</p> <p>普通の町屋は、間口三間の奥に長い形をしている（入母屋造りの妻入り型）が、阪本商家は「重層入母屋造りの平入り」型である。</p> <p>平成12年5月に、「有形文化財」に指定されている。（市指定有形文化財）</p>

(2) 事業の概要

①平成29年度実績

- ・総入館者数 11,401人（大人 8,533人 小人 2,868人）
- ・開館日数 144日
- ・一日平均利用者 79人

②企画展、講座、イベント等の開催

企画展事業に関しては、春に「佐土原の伝統猟法巨田池の鴨網猟」を開催したほか、秋から冬にかけて、「旗本島之内島津ーもう一つの島津家ー」を開催した。

また、体験学習として、「佐土原城探検」や「茶道体験」「生け花体験」「佐土原人形の絵付け」「乗馬体験」「城下町散策」など地域に密着したものを開催した。

5 天ヶ城歴史民俗資料館

平成5年に高岡地区の桜の名所、天ヶ城公園内にオープンした天ヶ城歴史民俗資料館は、高岡地域の文化遺産（歴史・考古・民俗）を保存・研究している。その成果は、展示や講座などを通して普及・促進しており、地域文化の向上に寄与している。

(1) 施設の概要

所在地	宮崎市高岡町内山 3003 番地 56
建物延床面積	1,432.28 m ²
建物構造	鉄筋コンクリート4階建て
事業費	876,000 千円
休館日	月曜日～金曜日（休日に当たる日を除く。3/15～4/14 は休館日なし）、12/29～1/3
開館日	平成5年11月6日
入館料	無料

【展示の概要】

天ヶ城歴史民俗資料館の展示は、大淀川とともに生きてきた高岡地区や人々の生活ぶり、かつて薩摩藩の武家集落である麓の一つとして栄えた武家社会のあり方、その他高岡地区の歴史、風土、産業などをジオラマなどによって分かりやすく紹介している。

1階展示コーナーは、民俗資料や帆掛け舟などによって、大淀川と高岡地区の関わりについて、分かりやすいガイダンス展示となっている。また、玄関ホールは、企画展示のコーナーで、高岡地区の歴史・考古・民俗についてさらに詳しく紹介している。

2階展示コーナーは、「川が培ったもの」というテーマで、高岡地区の歴史について、南北朝時代の穆佐院の頃から江戸時代の高岡郷・穆佐郷までの社会の移り変わりを中心に紹介している。特に、江戸時代の高岡郷の一日を再現したジオラマ模型は、当時の人々の暮らしを具体的に知ることができる展示となっている。

3階展示コーナーは、「川と営み」というテーマで、かつて高岡地区でよく見かけられた中二階の家を再現するなど、高岡の民俗を分かりやすく展示している。

4階からは、「川が生み出したもの」というテーマで、大淀川を中心とした現在の高岡地区の様子が一望できる。

(2) 事業の概要

①平成29年度実績

- ・総入館者数 20,428人（大人 12,937人 小人 7,491人）
- ・開館日数 136日
- ・一日平均利用者 150人

②企画展、講座の開催

企画展に関しては、年度初めに「天ヶ城蔵出し展」を開催し、年度終わりに「高岡の指定文化財展」を開催して、平成28年度に寄贈のあった資料を中心に展示公開した。

また、体験学習として、「弓矢作り」をはじめ「水鉄砲作り」「ゴム動力自動車作り」「草木染め」「芋ほり」「凧作り」「ミニ門松作り」「かまど炊飯」などを実施した。

さらに、授業支援事業「暮らしを支えた昔の道具」を実施し、申し込みのあった宮崎市・綾町・国富町の小学校を訪問して、昔の道具の取り扱い方をはじめ、道具の解説などを行った。

6 安井息軒記念館

安井息軒記念館は、平成 11 年度に開催された安井息軒生誕 200 年祭によって、さらに活発となった顕彰活動の一環として建設され、清武出身の幕末の儒学者安井息軒に関する資料の管理や展示、また、宮崎平野の南部に位置する旧清武郷の歴史・文化の紹介を行う施設となっている。

平成 29 年度から指定管理者の運営となり、企画展示や歴史講座等の事業に取り組んでいる。

(1) 施設の概要

所在地	宮崎市清武町加納甲 3378 番地 1
敷地面積	4,329 m ²
建物延床面積	1,131.52 m ²
建物構造	鉄筋コンクリート 2 階建
事業費	495,647 千円
休館日	月曜日、休日の翌日(但し、土・日曜日、休日にあたる日を除く)、12/29～1/3
開館日	平成 14 年 9 月 23 日
入館料	無料

①展示の概要

安井息軒記念館の展示は、「安井息軒」「古代・中世の清武」を紹介している。安井息軒展示室では、彼の生涯と業績を直筆の書籍や遺品等の資料を交えて紹介している。宮崎市中心部から太平洋まで見渡せる展望室では、清武城跡や曾井城跡などの中世城郭をはじめ古代・中世の清武に関する資料を、その眺望を最大限活かす形で紹介している。又、廊下展示については、昭和から平成にかけての旧清武町のあゆみを写真パネルで紹介し、加えて旧清武郷木花出身の刀工井上真改作の日本刀を特別ブースにて展示している。

②茶室「香梅庵」

香梅庵は、日本の伝統文化である茶道の普及を目的に建てられた施設で、一般への貸し出しも常時行っている。約 10 坪の茶室は入母屋造りの草庵式茶室で、4 畳半の小間と水屋に寄合待合が付いている。また、外露路には腰掛待合が設けられ、内露路にはつくばいと石灯籠が配置されている。

③国指定史跡「安井息軒旧宅」

安井息軒の生家で、天保 2(1831)年安井家が飢肥へ転居するまで父滄洲らとともに息軒はここで暮らしている。転居後他者の所有となったものの大正 12 年に公有化され、昭和 54 年には国の史跡に指定され、平成 5 年には史跡整備が行われている。

(2) 事業の概要

① 平成 29 年度実績

- ・総入館者数 10,947 人 (大人 8,155 人 小人 2,792 人)
- ・開館日数 307 日
- ・一日平均利用者 36 人
- ・施設利用 香梅庵 816 件

② 各種講座、イベント等の開催

企画展については、「安井息軒と西郷隆盛～明治維新百五十周年から振り返る新時代の足跡」を実施し、二人の巨人に関わった人物たちの人間模様を紹介した。また、春の展示においては「安井息軒 最後の評価と資料」と題して日本を法治国家へと導いた知の巨人安井息軒の新しい側面を紹介した。さらに秋の展示では、「須磨子からお美野への書簡」と題して湯地家からの寄託資料に基づいてミニ展示を実施した。

講座としては、一般対象の「安井息軒記念館講座」（全6回）を実施した。このほか、息軒所縁の地を探索する「息軒ふるさとウォーク」や「息軒探訪バスツアー」、梅の時期には香梅庵で呈茶を実施した。また、安井息軒に関する情報や館内イベント等を紹介する情報誌「息軒だより」を年6回発行した。